

広場にひらく中庭

パブリックの領域とプライベートの領域を可視化する
 指導教員 吉松秀樹教授 印

2BEB2220 四本 美紀

1. スペイン・アンダルシア地方の住宅の分析

海外研修をきっかけにスペインの住居に興味を持った。そのなかで外からは見ることができない中庭を持ちながらも広場につながる住居を分析した (Fig.1、2、3)。



Fig.1 住宅の平面図 Fig.2 都市の分析 Fig.3 住宅の分析と図式化

2. スペインとイスラームとの比較

スペイン アンダルシア地方の住宅の特徴はイスラーム都市の住宅に類似しているため、より歴史のある現在でもイスラーム都市としての特徴を保ち続けているチュニスを取り上げる。

(Fig.4、5、6)。



3. 月島との比較

身体感覚として都市が整備されている東京都中央区月島の調査を行い、大通りから路地につながる玄関やさらに家と家のプライベートな領域が高い路地に面している居間はスペインの広場に面している中庭と同じ図式化になっていることがわかる (Fig.7、8)。

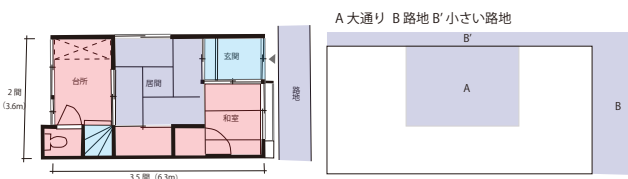


Fig.7 月島の住宅 Fig.8 住宅の図式化

4. チュニスを参考にした設計

中庭を中央におき、半パブリックな空間を中庭に隣接し、二階にはプライベートな空間をおく設計を行った。(Fig.9、10、11、12)。

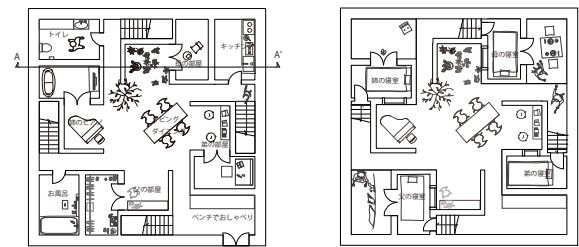


Fig.9 1階平面図 Fig.10 2階平面図



Fig.11 模型写真



Fig.12 ダイアグラム

5. スペインを参考にした設計

広場の前と対称に中央に中庭をおき、そこから家族の部屋がつながり二階に上がると一階の庭を囲うようにして庭を造る。(Fig.13、14、15、16)

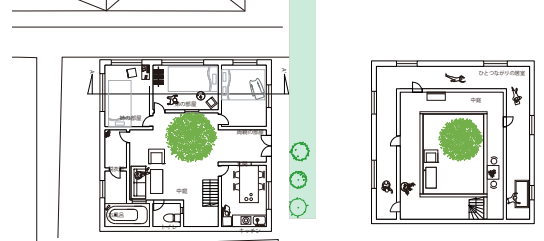


Fig.13 1階平面図 Fig.14 2階平面図



Fig.15 模型写真

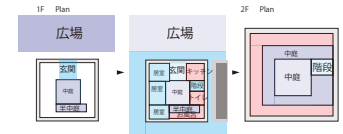


Fig.16 ダイアグラム

6. ダイアグラムの比較

チュニス型とスペイン型は図式化すると中庭の置き方は2つとも類似していることが平面の図式化でわかりが今後の展望として、広場と中庭の関係性を追求し深めて行きたい。